

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成28年6月16日(2016.6.16)

【公開番号】特開2016-41767(P2016-41767A)

【公開日】平成28年3月31日(2016.3.31)

【年通号数】公開・登録公報2016-019

【出願番号】特願2015-255873(P2015-255873)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)
 A 6 1 P 35/00 (2006.01)
 A 6 1 K 45/00 (2006.01)
 A 6 1 K 31/4709 (2006.01)
 A 6 1 K 31/436 (2006.01)
 A 6 1 P 11/00 (2006.01)
 A 6 1 P 15/00 (2006.01)
 A 6 1 P 19/00 (2006.01)
 A 6 1 P 13/08 (2006.01)
 A 6 1 P 25/00 (2006.01)
 A 6 1 K 31/506 (2006.01)
 A 6 1 K 38/21 (2006.01)
 A 6 1 K 31/131 (2006.01)
 A 6 1 K 31/675 (2006.01)
 A 6 1 K 31/198 (2006.01)
 A 6 1 K 31/196 (2006.01)
 A 6 1 K 31/407 (2006.01)
 A 6 1 K 31/255 (2006.01)
 A 6 1 K 31/17 (2006.01)
 A 6 1 K 31/166 (2006.01)
 A 6 1 K 31/4188 (2006.01)
 A 6 1 K 31/282 (2006.01)
 A 6 1 K 33/24 (2006.01)
 A 6 1 K 31/513 (2006.01)
 A 6 1 K 31/7072 (2006.01)
 A 6 1 K 31/522 (2006.01)
 A 6 1 K 31/7068 (2006.01)
 A 6 1 K 31/7076 (2006.01)
 A 6 1 K 31/52 (2006.01)
 A 6 1 K 31/519 (2006.01)
 A 6 1 K 31/337 (2006.01)
 A 6 1 K 31/7056 (2006.01)
 A 6 1 P 35/04 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 39/395 T
 A 6 1 P 35/00
 A 6 1 K 45/00
 A 6 1 K 31/4709
 A 6 1 K 31/436
 A 6 1 P 11/00
 A 6 1 P 15/00

A 6 1 P 19/00
 A 6 1 P 13/08
 A 6 1 P 25/00
 A 6 1 K 31/506
 A 6 1 K 37/66 G
 A 6 1 K 31/131
 A 6 1 K 31/675
 A 6 1 K 31/198
 A 6 1 K 31/196
 A 6 1 K 31/407
 A 6 1 K 31/255
 A 6 1 K 31/17
 A 6 1 K 31/166
 A 6 1 K 31/4188
 A 6 1 K 31/282
 A 6 1 K 33/24
 A 6 1 K 31/513
 A 6 1 K 31/7072
 A 6 1 K 31/522
 A 6 1 K 31/7068
 A 6 1 K 31/7076
 A 6 1 K 31/52
 A 6 1 K 31/519
 A 6 1 K 31/337
 A 6 1 K 31/7056
 A 6 1 P 35/04

【手続補正書】

【提出日】平成28年4月13日(2016.4.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

新生物の処置を必要とする患者における新生物の処置における同時、別々または逐次的な使用のための組成物であって、

有効量の、CCI-779(テムシロリムス)、ラパマイシン(シロリムス)、42-O-(2-ヒドロキシ)エチルラパマイシン(エベロリムス)、またはその薬学的に許容可能な塩からなる群より選択されるmTORインヒビター

を含み、該mTORインヒビターは、有効量の(E)-N-{4-[3-クロロ-4-(2-ピリジニルメトキシ)アニリノ]-3-シアノ-7-エトキシ-6-キノリニル}-4-(ジメチルアミノ)-2-プテナミド、またはその薬学的に許容可能な塩と組み合わせて使用されることを特徴とする、組成物。

【請求項2】

新生物の処置を必要とする患者における新生物の処置における同時、別々または逐次的な使用のための組成物であって、

有効量の(E)-N-{4-[3-クロロ-4-(2-ピリジニルメトキシ)アニリノ]-3-シアノ-7-エトキシ-6-キノリニル}-4-(ジメチルアミノ)-2-プテナ

ミド、またはその薬学的に許容可能な塩

を含み、(E)-N-{4-[3-クロロ-4-(2-ピリジニルメトキシ)アニリノ]-3-シアノ-7-エトキシ-6-キノリニル}-4-(ジメチルアミノ)-2-プテナミドは、有効量の、CCI-779(テムシロリムス)、ラパマイシン(シロリムス)、42-O-(2-ヒドロキシ)エチルラパマイシン(エベロリムス)、またはその薬学的に許容可能な塩からなる群より選択されるmTORインヒビターと組み合わせて使用されることを特徴とする、組成物。

【請求項3】

前記mTORインヒビターが、CCI-779(テムシロリムス)である、請求項1または2に記載の組成物。

【請求項4】

さらに、1つまたはそれ以上の抗悪性腫瘍アルキル化剤、1つまたはそれ以上の代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤、1つまたはそれ以上の生化学的免疫修飾剤、イマチニブ、1つまたはそれ以上のEGFRインヒビター、腫瘍細胞および腫瘍脈管構造の両方におけるセリン/トレオニンおよびレセプターチロシンキナーゼを標的にするマルチ-キナーゼインヒビター、またはインターフェロンと組み合わせて使用されることを特徴とする、請求項3に記載の組成物。

【請求項5】

請求項4に記載の組成物であって、

i) 前記1つまたはそれ以上の抗悪性腫瘍アルキル化剤が、メクロレタミン、シクロホスファミド、イフォスファミド、メルファラン、クロラムブシル、チオテバ、マイトマイシン、ブスルファン、ロムスチン、カルムスチン、プロカルバジン、テモゾロミド、オキサリプラチン、シスプラチン、またはカルボプラチンを含むか；

ii) 前記1つまたはそれ以上の代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤が、5-フルオロウラシル、フロクスウリジン、チオグアニン、シタラビン、フルダラビン、6-メルカプトプリン、メトトレキサート、ゲムシタビン、カペシタビン、タキサン、ペントスタチン、トリメトレキサテル、またはクラドリピンを含むか；あるいは

iii) 前記1つまたはそれ以上の生化学的修飾剤が、ロイコボリンまたはレボホリナートを含む、組成物。

【請求項6】

前記1つまたはそれ以上の代謝拮抗性抗悪性腫瘍剤がタキサンである、請求項4に記載の組成物。